

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 8 月 10 日 (2006.8.10)

【公開番号】特開 2001-120909 (P2001-120909A)

【公開日】平成 13 年 5 月 8 日 (2001.5.8)

【出願番号】特願 平 11-299834

【国際特許分類】

B 0 1 D 21/30 (2006.01)

B 0 1 D 21/02 (2006.01)

B 0 1 D 21/08 (2006.01)

B 0 1 D 21/24 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 21/30 F

B 0 1 D 21/02 S

B 0 1 D 21/08 E

B 0 1 D 21/24 D

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 26 日 (2006.6.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 1】

また、本発明に係る含有フロック制御手段は、上述の各実施態様に示したように板状に形成するものの他、管状に構成することもできる。たとえば図 5 に本発明の第 4 実施態様に係る凝集沈殿装置 4 1 を示すように、沈澱槽 3 への被処理水流入部 4 2 に、沈澱槽入口傾斜管 4 3 を縦横に（格子状に）配列してもよい。また、傾斜管構成ではなく、上下方向に延びる整流管構成としてもよい。傾斜管 4 3 に構成する場合には、その内面に、図 3 に示したようなフロッカー時せき止めフィン設けることが可能である。このような沈澱槽入口傾斜管 4 3 構成、あるいは整流管構成としても、図 2、図 4 に示した構成と同等の作用、効果、あるいは図 1 に示した構成と同等の作用、効果を得ることが可能である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 8】

従来の含有フロック制御手段なしの凝集沈澱装置の全体構成図である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 9】

従来の別の含有フロック制御手段なしの凝集沈澱装置の全体構成図である。